

留学報告書 II (2022 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	湘南藤沢高等部 5 年
留学先校名	Shrewsbury School
留学期間	2022 年 9 月から 2023 年 7 月まで

留学を振り返って

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

Sports

6th form は週に 2 回以上のスポーツをすることが義務付けられていました。

- Fives
イギリス発祥の手を使うsquash のようなスポーツです。Shrewsbury では Eton Fives という流派のものが行われています。イギリスの Public School でしか行われていないようなので、ここでしか経験できないことができたと思います。寮長さんや Guardian にお勧めされ、Michaelmas term に週 2 回参加していました。
- Squash
Lent term に週 1 回参加していました。初心者が多かったのが比較的馴染みやすかったです。また、Squash Court には卓球台もありそこで遊ぶこともありました。
- Spins
Lent term はジムにも通いました。
- RSSBC (Recreational Rowing)
Summer term は週に 2 回、初心者向けのローイングにチャレンジしました。8 人乗りのボートと 4 人乗りのボートどちらも経験することができました。学校と町の周りを流れる River Severn で練習するので、Shrewsbury の景色を楽しめました。
- RSSH (Chatty Running)
Summer term に週 1 で参加しました。おしゃべりを楽しみながら、学校の敷地をでて Shrewsbury のいろいろなところまで走りました。みんなが知らないようなところまで連れて行ってもらって、Shrewsbury の散策ができて面白かったです。走りながら話せるので、新しい友達を作る場にもなりました。

Thursday Activities

- ETSOS (Experimental Techniques in Science for Overseas Students)
Lower 6th から入学した化学を履修している留学生向けの、実験スキルを学ぶアクティビティです。最初の Michaelmas Term に参加していました。最初は GCSE の復習から始まり、最後は Upper 6th の内容まで扱いました。自分一人で実験器具を使いこなし、実験を行うことができるようになりました。
- Individual Project
Lent term と Summer term は “What limitations does the DART mission identify to planetary defence against asteroid collision?” というテーマでリサーチをしていました。

その他

- Organ

週に 1 回、パイプオルガンの Music Lesson を取っていました。学校のチャペルにあるオルガンを使っていました。6 月最後の週にはオルガンコンサートがあり、1 年の集大成として人前で演奏することができ、とても良い経験になりました。

- Extension Maths

毎週金曜日に行われる、Oxbridge で数学を学びたい人に向けた数学の応用問題を解くセッションです。British Maths Olympiad や MAT paper (Oxford の数学入試問題)、STEP paper (Cambridge の数学入試問題) の過去問を扱いました。他校からも Oxbridge を目指す生徒が数人参加しており、似た目標を持つ友人たちとハイレベルなディスカッションができ、新たな視点を得ることができました。

- David Harrison Maths Prize

数学に関するトピックでプレゼンテーションをする校内の大会です。私は “Spirograph and Celestial Mechanics” というテーマで発表をし、3 位を頂きました。

- Olympiads

各教科で何度か Olympiad と呼ばれるイギリス全土共通の大会に参加しました。今まで勉強したこと
の応用問題や、Problem Solving がベースとなっている問題です。また、Senior Maths Challenge や Senior Kangaroo Maths Challenge、Senior Physics Challenge、Cambridge Chemistry Challenge などにも参加し、様々な賞を取ることができました。

- Purple Comet

6 人チームで参加するオンラインの数学の国際大会です。私たちのチームは 4 人の Lower 6th と 2 人の Upper 6th で参加し、イギリス内で 1 位を取ることができました。

- House Sports

Shrewsbury School では寮対抗のスポーツが盛んで、私は、学校の周りを走るクロスカントリーのレースである Paperchases、クロスカントリーのリレーの Steeplechases、そして 4 人組でボートに乗る Bumps と呼ばれるローイングの大会に出場しました。自分自身は選手ではないスポーツの大会も、House Colour の服やフェイスペイントを身に着けて皆で応援しに行きました。House Spirit を感じ、ボーディングスクールならではの経験ができました。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

各クラス約 10 人ほどの少人数だったので、先生が一人一人の理解度を把握しながらサポートしてくれました。また、数学は自分のレベルごとにクラス分けがされているので、周りの友人に刺激されながらより高みを目指すことができました。One Note が主流なので、先生が個人の One Note に挿入してくれたページに書き込んでいました。授業の内容については、日本より早く進んでいるように感じます。日本では大学の 1 年生で習うような内容が A level のシラバスには入っているので、より深い専門的なことを学ぶことができました。課題は各先生から少なくとも週に 1 度約 2 時間分の量が出されました。SFC と比べると圧倒的に多く、最初の内は復習はできずに課題を終わらせるだけで夜中まで起きているということが多々あり、いかに隙間時間を使って効率よく終わらせるかが大切でした。大きな試験は 11 月の Progress test と 6 月の End of year exam の二つだけでした。6 月の試験では、その結果に基づいて A level の predicted grade

がつけられるので、1 か月ほど前から皆必死に復習していました。

Maths (Further Maths)

Pure Maths, Statistics, Mechanics に分かれており、それぞれ違う先生から教わりました。Shrewsburyでは、最初に Single Maths の Year1 と Year2 の内容を終えた後に、Further Maths の範囲に入りました。授業の進め方は、前半は先生がその日に扱う内容のコンセプトの説明と例題の解説をし、後半はそれぞれテキストの問題を解いて、分からないところがあればその都度質問をする、というようなものでした。

Further Maths は週に 16 コマ授業があるため進みはとても早く、1-2 週間で 1 つの単元が終わりました。課題は問題演習が主で、それぞれ週に 1 回ほど出されました。また、私のいたクラスでは Mechanics のみ半学期に 1 度ほどの頻度でテストがありました。テストの有無は担当する先生に完全に委ねられているので、Pure Maths と Statistics ではクラス内のテストはありませんでした。

Chemistry

Organic Chemistry とそれ以外の範囲を 2 人の先生から教わっていました。基本的には講義形式でしたが、日本と比べて実験を行う機会が多かったです。課題は、実験の Risk Assessment を行うことか、A level の試験の過去問演習などでした。また、各トピックが終わるごとに End of Topic Test があり、定期的に復習をし記憶に定着することができたためよかったです。

Physics

Lower 6th では、力学全般と電気、波、量子力学について扱い、2 人の先生から教わりました。化学と同様、基本的には講義形式でしたが、先生が実際にデモンストレーションをしてくれたりして、目で理解することができ面白かったです。実験も 2 週間に 1-2 回の頻度で行いました。テストはたまにありましたが、そこまで多くはなかったです。課題はほとんど問題演習で、他の科目と比べると量は少なかったです。Summer term の最後にリサーチプロジェクトがあり、授業内で扱った Material Science に興味があったので、それについて深い内容を調べてレポートを書きました。

AP (Academic Perspective) Lessons

以下は AP Lessons に関する先生からのメールの抜粋です。 “In AP Lessons, you will be introduced to important contemporary skills and themes relevant to the subject, but not explicitly part of the A Level course.”

AP Lessons は 2022 年度から Lower 6th 対象に始まった新しい授業で、各科目 2 週間に 1 度行われました。

Chemistry では、実験で得られたデータを Microsoft Excel で扱い、分かりやすいグラフや表の作り方を習いました。また、パソコン上で chemical formula を描くことのできるソフトの使い方も教わりました。さらに、lab にある実験器具や化学物質を自由に使い、使用する薬品から手順まで自ら考えて実験を行い、与えられた質問に答えるという課題もありました。

Physics ではグループでプロジェクトを行いました。グループ内で話し合い、どんな実験を行うかのプランを立て、半年間かけて完成させました。

Maths では Computer Science について学びました。アルゴリズムから始まり、プログラミングの基礎を勉強しました。最後には、グループでテーマを選んで発表しました。

慶應義塾一貫教育校派遣留学制度

全体的に、リサーチスキルの向上や Microsoft アプリの活用を目的としたカリキュラムであったように思います。このレッスンから課題や試験があることはありませんでした。

今後の派遣留学生へのアドバイス

少しでも興味があったら、ためらわずに色々なことに挑戦してほしいです。やってみないと分からないこともありますし、何かを達成したという経験は自分の自信につながってさらに新しいことを始めるきっかけにもなります。

また、GCSE の復習は軽くしておいたほうが良いと思います。私自身、化学と物理の専門用語を覚えるのに苦労したので、GCSE で出てくるものは日本にいるうちに目を通しておくと、留学生活が始まったときに A level の内容に集中して勉強できます。

また沢山の Social event に参加することをおすすめします。理系科目を選択していると交友関係を広げることが難しいので、授業外で友達を作る良いきっかけになるとと思います。

以上

